

気候情報

2018年6月の日本の天候

- 全国的に気温は高かった
- 北海道地方では、降水量がかなり多かった
- 日照時間は東日本太平洋側ではかなり多く、東・西日本日本海側で多かった

6月の天気概況

北海道地方では、天気は数日の周期で変化したものの、低気圧や前線の影響を受けやすく、月降水量はかなり多かった。東日本太平洋側では、梅雨前線や湿った空気の影響を受けにくく、月間日照時間はかなり多かった。月平均気温は、日本の南東海上で太平洋高気圧が強くなり、上旬に日本の東海上で移動性高気圧の勢力が強まりやすかった時期もあり、全国的に高かった。

上旬：旬の中頃は、日本の東海上で高気圧の勢力が強まり、南から暖かい空気が流れ込んで、北・東日本を中心に顕著な高温となった。

旬平均気温は、北・東日本と沖縄・奄美でかなり高く、西日本で高かった。

旬降水量は、北日本と東日本日本海側で少なく、東日本太平洋側、西日本と沖縄・奄美で平年並だった。

旬間日照時間は、東日本太平洋側でかなり多く、北日本、東日本日本海側と沖縄・奄美で多かった。西日本では平年並だった。

中旬：旬の中頃には強い寒気が流れ込んだうえ、オホーツク海高気圧も出現し、北・東日本を中心に顕著な低温となった時期もあった。旬の終わりは、梅雨前線が本州南岸まで北上し、東・西日本では曇りや雨の日が多く、西日本太平洋側を中心に大雨となった。沖縄・奄美では、前線や湿った空気の影響で旬降水量がかなり多かった。

旬平均気温は、北・東・西日本で低く、沖縄・奄美では平年並だった。

旬降水量は、北日本日本海側と沖縄・奄美でかなり多く、北・東日本太平洋側と西日本で多かった。東日本日本海側では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本、東日本日本海側と沖縄・奄美で少なく、東日本太平洋側と西日本で平年並だった。

下旬：北海道地方では、低気圧や前線の影響を受けやすく、旬降水量はかなり多かった。一方、日本の南東海上で太平洋高気圧の勢力が強まり、東日本太平洋側では高気圧に覆われて晴れた日が多かった。関東甲信地方では、1951年の統計開始以降最も早く29日頃に梅雨明けした（速報値）。旬の後半は、太平洋高気圧の強まりと上空の気圧の尾根の影響で、東日本を中心に気温のかなり高い日が多かった。沖縄・奄美でも太平洋高気圧に次第に覆われやすくなり、沖縄地方では23日頃、奄美地方では26日頃に梅雨明けした（速報値）。

旬平均気温は、東日本でかなり高く、北・西日本と沖縄・奄美で高かった。

旬降水量は、北日本日本海側でかなり多く、北日本太平洋側で多かった。一方、東日本で少なかった。西日本と沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、東日本でかなり多く、北日本太平洋側、西日本で多かった。一方、北日本日本海側で少なかった。沖縄・奄美では平年並だった。

6月の気候統計

月平均気温：全国的に高かった。

月降水量：北日本日本海側ではかなり多く、北日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった。一方、東日本日本海側で少なかった。東日本太平洋側と西日本では平年並だった。

月間日照時間：東日本太平洋側ではかなり多く、東・西日本日本海側で多かった。一方、北日本日本海側では少なかった。北・西日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

6月の記録（1位更新のみ）

- ・月降水量多い方から (mm)
 - 北見枝幸 238.0
- ・月降水量少ない方から (mm)
 - 若松 35.0 石巻 30.0 福島 26.0
 - 白川 46.0
- ・月間日照時間多い方から (h)
 - 秩父 186.6 日光 166.6

2018年6月の平年差（比）図

